

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年7月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	若築建設株式会社
所在地	東京都目黒区下目黒 2-23-18
代表者役職・氏名	代表取締役社長 烏田克彦
担当者連絡先	電話：03-3492-0308 (担当：白石)
	メール： miu.shiraishi@wakachiku.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.wakachiku.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

1890年、海上交通の要衝である洞海湾(若松港)および周辺の運河を改良し、筑豊炭田から採掘された石炭の積出港として開発・運営することを目的として創業。浚渫や埋立といった港湾工事(海上土木工事)や、陸上土木工事や建築工事、海外事業へと展開し、総合建設業者として、2020年5月に創業130周年を迎えた。
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	洋上風力発電への積極的な検討、これまでの再生可能エネルギー事業の実績と経験を活かして、当社の技術力のアピール強化。	年間発電量総計 100 億 kWh (出力 100 万 kW 級の原子力発電 1 基相当分) を目標に再生可能エネルギー関連施設の建設に携わる。
✓環境 ✓社会 □経済	施工管理システムなどによる作業効率の向上、高省燃費型の建設機械・作業船の利用推進、建設副産物(浚渫土)、産業副産物の有効利用による土砂運搬土量の削減、機械の点検整備・省	

(様式第2号)

企業・団体名(若築建設株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

R4. 11. 25更新

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			

(様式第 4 号)

令和 5 年 8 月 21 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都目黒区下目黒 2-23-18

名称： 若築建設株式会社

代表者： 烏田克彦

登録年月日： 令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 □経済	洋上風力発電への積極的な検討、これまでの再生可能エネルギー事業の実績と経験を活かして、当社の技術力のアピール強化。	年間発電量総計 100 億 kWh (出力 100 万 kW 級の原子力発電 1 基相当分) を目標に再生可能エネルギー関連施設の建設に携わる。	・ 2022 年時点で、年間発電量総計 41 億 kWh に携わる。
✓環境 ✓社会 □経済	施工管理システムなどによる作業効率の向上、高省燃費型の建設機械・作業船の利用推進、建設副産物(浚渫土)、産業副産物の有効利用による土砂運搬土量の削減、機械の点検整備・省エネ運転・アイドリングストップなどの励行。	施工段階における CO2 排出量を 2030 年度までに 40%削減する(2013 年度比)。	・ 海洋土木工事の排出量: 52.9 t-CO2/億円 (削減率 59%) ・ 陸上土木工事の排出量: 69.2 t-CO2/億円 (削減率 10%) ・

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	東京都目黒区下目黒 2-23-18
名称：	若築建設株式会社
代表者：	烏田克彦
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力発電への積極的な検討、これまでの再生可能エネルギー事業の実績と経験を活かして、当社の技術力のアピール強化。	年間発電量総計 100 億 kWh（出力 100 万 kW 級の原子力発電 1 基相当分）を目標に再生可能エネルギー関連施設の建設に携わる。	41 億 kWh
✓環境 ✓社会 □経済	施工管理システムなどによる作業効率の向上、高省燃費型の建設機械・作業船の利用推進、建設副産物（浚渫土）、産業副産物の有効利用による土砂運搬土量の削減、機械の点検整備・省エネ運転・アイドルリングストップなどの励行。	施工段階における CO2 排出量を 2030 年度までに 40% 削減する(2013 年度比)。	2023 年度実績 ・海洋土木工事の排出量：29.2 t-CO2/億円 ・陸上土木工事の排出量：57.2 t-CO2/億円 ・建築工事の排出量：4.7 t-CO2/億円
✓環境 ✓社会 ✓経済	ICT 施工等、高効率の施工技術の開発、管理システムの開発、技術研究所の強化、プレキャスト工法の高度化、保有する		

令和 7 年 11 月 17 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	東京都目黒区下目黒 2-23-18
名称：	若築建設株式会社
代表者：	烏田 克彦
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力発電への積極的な検討、これまでの再生可能エネルギー事業の実績と経験を活かして、当社の技術力のアピール強化。	年間発電量総計 100 億 kWh（出力 100 万 kW 級の原子力発電 1 基相当分）を目標に再生可能エネルギー関連施設の建設に携わる。	41.8 億 kWh
✓環境 ✓社会 □経済	施工管理システムなどによる作業効率の向上、高省燃費型の建設機械・作業船の利用推進、建設副産物（浚渫土）、産業副産物の有効利用による土砂運搬土量の削減、機械の点検整備・省エネ運転・アイドルリングストップなどの励行。	施工段階における CO2 排出量を 2030 年度	